



きらめき亀山21

きらめき亀山21広報部
amani@helen.ocn.ne.jp

第9号

2001年12月21日発行

屋号看板をかけさせてもらってありがとう

岡田集平先生をお迎えして交流会

宿場の賑わい復活プロジェクト 先ずは屋号から

関の町並み保存を企画推進された岡田集平先生をお迎えして、12月3日(土)夜、城西コミュニティで地域の皆さんとの交流会が、町並み保存、商店街を考える分科会とで開催され40名近い皆さんが集まりました。



岡田集平先生のお話「よみがえらせた亀山の町」より:

「関の町並みが整うのには8年かかりました。当初は関係住民の2割が趣旨に賛同してくれるだけで、各論で色々と問題を提起され、「関はよいとこ入れば地獄」と馬子唄に唄われる町の風土ゆえ、対応に苦慮し、その間は顔を上げて街中を歩くことが憚れる心境でした。15年経った今やっと大方の人の理解が得られまできになりました。関の人達が自ら考えを変えて

いったと云うより、外から訪れる人達が町の人達の考えを変えていった、といえます。46番宿場町亀山は、真に良い町。53宿の内、城下町で宿場町と言うのは12宿。丘陵地に宿場町があるのは亀山のみ。全国に知られていない秘められた町。東海道で現存する一里塚は4箇所のみ(三島、岡崎、鳴海、そして亀山の野村)。全国でもムクの木は亀山のみ、あとはエノキ。屋号は親しみを覚える。「近江屋」今の滋賀から来られた家とか、東町の「はちべえ」といえばあの美味いうどん屋さん、とか。昔は屋号で呼び合った。「万町」は、誰もがここに来たら生活用品を整えることの出来る町。町の名にはそれぞれ意味がある。坂の町は、坂を登れば坂の上には何かがあるという期待をもたらす。廣重は、亀山の坂を強調して「雪晴」の構図を画いた。坂には土地の人が名前を付け、道には本来名前があるべきもの。関はもともと「ふんどし道」と云われる一本道、一方、亀山の道は屈折し角がある。走り抜けがし難く、三叉路、十字路ではどちらへ向かうかと、人はかならず立ち止まり一息入れる空間となる。そこに道しるべを立て、休憩所を設けてはどうだろうか。街角や坂のある町を忌み嫌うのではなく、これらの活用を考えればよい。亀山の東町のように、道路を広げると片側のみの交流に成り両側からの交流が無くなる。全国に人の歩ける草道が必要。今の子は芝道地道が無いから、道草の楽しみが無い。地道を草履で歩いてみると、どんなにか軽やかで気持ちが良いかを感じ取ることが出来る。連子格子は明治以降に出来た様式で、もともと家の表の街道側は開放されていた。復元ではなく今在る家並みを工夫して保存、変化づけることが大事。町の名前をどこかに掲げる、亀山駅に降り立ったときに目に付く表札を立て、亀山のいわれを書いておく。常夜灯を復元し、道しるべを立て高札を復元すると良い。土山は四ッ辻に碑を建てている。野村一里塚の前を何人もの人が通り過ぎて行った。シーボルトは「江戸参府紀行」に、亀山のことを美しい町、と書いている。人の往来を調べるのも良い。亀山は、町の人達がまちづくりを進め行政を動かしている点が良い。便利さだけを追求するのではなく古いものの中に残されている良さを引き出す工夫、外から訪れる人達に解ってもらおうことが大切です。」と、一時間に及ぶ講演を締めくくられました。この後、参加者一人一人が、自己紹介と共に、町並み保存、まちづくりに懸ける思いを語り合いました。



目次:

屋号看板プロジェクト ～交流会～	1
教育ボランティア プロジェクト 現場の先生の意見を聞く	2
子ども分科会 バリアフリー分科会 国際交流	3
これからの行事予定	4

KIFA(キーファ)

とは?

亀山国際交流の会の呼称です。

「きらめき亀山21」

国際交流分科会より新しく発足しました。個人年会費2000円あなたの入会参加をお待ちしています。

第2回市民交流会

「きらめき亀山21」

みんなで語ろう

「みんなのために」

2002年2月24日(日)

13時から16時開催

亀山青少年研修センタ



教育ボランティアネットワーク（仮称）第2回会議

現場の先生方から生の声を聞く

市民は地域の子供たちの安全と育成に何ができるだろうか？

私たちのもつ能力を活かし子ども達が自ら学び自ら考える「生きる力」を培っていくための人材となるうではないか。学校や地域の必要に協力していける市民ネットをつくらう。そして授業に遅れがちな子ども達へのサポート、学校の整備お手伝い、地域のパトロール、更には高校生が中学生を教える等、子ども達のボランティアの場づくり等々。

「きらめき亀山21」市民交流会での発言討議が形となり動き出しました。10月17日には、市内の幼稚園から高校までの園長・校長先生方、PTA関係者、教育行政関係者等の皆さまにお集まりいただき教育ボランティア構想の趣旨説明と関係者のご意見を伺う会議がもたれました。

席上様々のご発言があり子供たちに強制でなく自由な参加であること。学校側の意識改革が必要なこと。同時にボランティア側も資質の向上を求められること等有益なご意見をいただきました。特に今までに無く市民の側から動き出したことで画期的な時代の変革につながるのではと賛同と期待をしていただきました。

さらに12月5日には現場の先生方にお集まりいただき直接生の声、ボランティアにできそうなこと期待することをお聞きしました。

多くの人々の智慧と力を集めることで子供たちにまた私たちにも日々の生きがいを与えみんなが活用しやすく長続きのするネットワークを2002年4月からスタートできるよう準備していきますのでよろしくご支援をお願いします。

現場の先生方からの意見要約(☆印)

質問:PTA等既存の組織とは別に活動するのですか？

答:そうではありません。既存の組織に地域からネットとして参加し学齢期の子どもがいないからと今まで教育に関心の無かった層を入れることで共に手を合わせ相乗効果をねらっています。

☆例えば日本国籍が無い子ども達のような学校に行っていない子どもを対象に入れていただきたいです。

☆授業に遅れがちな子どもや部活ボランティア等、ネットをつくることは歓迎です。もっと詰めた体制を作っていきたいです。

☆不登校児が中学全体で数十名います。その子にあった訪問ボランティアもあればと思います。

☆自販機での煙草購入等大人の視点でパトロールボランティアも必要では。

☆学校は外部の助けを借りないという考えは改める時期では。今のシステムで新カリキュラムはパンク寸前です。

学校現場に市民ボランティアも必要です。学校主体でやるのが長続きすると思います。

☆学校側もまだ需要について整理できていない現状です。

☆できる子をボランティアの助けでもっと伸ばすことも必要では。

☆学校は多忙で教科指導が半分もできないのが現状です。もっと教科研究等に力を入れたい。教育ボランティアはぜひお願いしたい。

☆園外保育の付き添い、園芸指導、子どもの心にふれる人形劇、絵本の読み聞かせを期待します。

☆今でも人材バンクはあるが面識が無いので来てもらい難い

☆親育ての教育のお手伝いもお願いしたい。

☆ボランティアとのコーディネータ力が大切です。

☆体験学習で大人の姿を見せることは重要です。

現場の先生方から意見を聞く

「あいあい」にて(12月5日)





これからの学校教育を学ぶ

出前トークを活用 子ども分科会

子ども分科会では来年度から実施される学校週5日制に伴う新学習指導要領、教育課程について県学校教育課より講師を呼び講習会を開きました。調査資料によると日本の子どもの学力の現状は国際的にトップクラスだが覚えることは得意でも自分なりの考えを表現するのが苦手だそうです。また授業の理解度意欲が小中高と上がるに連れ7・5・3といわれるように低下していくこと。このことからこれからは自ら学び考える力を育てること。子ども一人一人に応じたきめ細かな教育が必要とされる等のお話がありました。



学校教育の出前トークに集まった皆さん。
12月1日 市役所

バリアフリー分科会



12月18日「あいあい」でのバリアフリー分科会では「白鳥の湯」についてのアンケート結果の検討から時間限定で障害者の日を設ける案とか話し合いました。また障害児を地域に理解してもらおうアイデアを出し合い、例えばビデオ、映画の活用、パンフを作る、教育ボランティアへの参加等様々の意見が出されました。身体の障害は身近に体験しないとなかなか理解できません。

1/22(火)「障害者雇用を促進するには」
今回は障害児(者)を雇用している事業主さんと交流し意見交換します。
障害者の自立のためには親は障害児をどう育てていくか?障害児がもっと多くの事業主さんに理解し雇用されるには?

亀山国際交流の会(KIFA)

会員増えています!

国際交流分科会より誕生した「亀山国際交流の会」
KIFA(キーファ)は既に30名の会員を得、更に増加しています。特に若い世代が多いのが特徴で今後ますます発展していくでしょう。亀山では25人に1人は外国籍の市民です。今までは体験できなかった異文化とのふれあいが身近に実現できる環境です。

12月2日に行なわれた懇親会には外国籍の皆さんが多数参加され大いに盛り上がり国際親善を深めました。



亀山国際交流の会のこれからやっていきたい活動の数々

☆身近にできること

日本語教室の支援・交流会の開催

☆異文化の人たちとの交わりで違いを知る

講演会・語学教室・文化交流会開催

☆隣同士の交流からこころのつながりを広げる

市・自治会活動への参画・外国語新聞の発行・相談窓口開設

☆友人としてお付き合いできる環境をつくる

ホームステイの受け入れ・常設交流会場の開設

メールの使える皆様は「きらめき亀山21」メーリングリストに加入してください。無料です。携帯でもOK。kirakame21@freeml.com にメールを送るだけで他の加入会員全部にメールが届く便利な手段です。現在40名の皆さんが活発に意見交換しています。HPのトップ画面から加入できます。

地域の子どもは地域で
守り育てよう！
「きらめき亀山21」より新しい提案

「きらめき亀山21」ホームページ
http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/
毎日20件程度のアクセスがあり常に最新の情報を発信しています。旧のURL
http://www1.ocn.ne.jp/~kesmito/kirameki/
は新年よりバックナンバー専用になります。

第2回市民交流会
「きらめき亀山21」

メインテーマ：
みんなで語ろう！
「みんなのために」

2002年2月24日（日）には昨年同様、青少年研修センターにたくさんの皆さんに集まっていただきましょう！

今後の「きらめき亀山21」関連の行事

商店を考える分科会	1月7日(月) 19:30～	市役所3F
国際交流分科会	1月9日(水) 19:30～	市役所3F
企画広報リーダー会議	1月15日(火) 19:30～	市役所3F
生涯学習	1月21日(月) 18:30～	市役所3F
定例全体交流会	1月21日(月) 19:30～	市役所3F
バリアフリー分科会	1月22日(火) 18:30～	あいあい
町並み保存分科会	1月23日(水) 19:30～	市役所3F



第2回市民交流会
「きらめき亀山21」
みんなで語ろう！
「みんなのために」

2002年2月24日（日）
13:00～16:00

亀山市青少年研修センター
各種市民活動団体の展示ブース
誰もが対等に語り合える分散会等々
あなたの参加をお待ちしています！

こんなミニシールを用意しました。
知り合いに出す年賀状に貼りましょう！
「ぜひ来て！」のあなたのメッセージを忘れずに！



春先が楽しみです！

坂本の林道の奥の里山には100m以上にわたる広大なミツマタの群生地があります。昔、植樹されたものですが珍しい地域です。(写真)

この時期、既に花卉が見られ春先には淡い黄色の花をいっぱい飾ることになりそうです。

ハイキングにも手ごろな場所で開花の時期にみんなで見に行きたいと思います。(K.I)

編集作成：「きらめき亀山21」広報
amani@helen.ocn.ne.jp